



ITAKURA CONTENTS (今月の内容)

2009年新春インタビュー.....	2 P
タウン通信	6 P
TOPICS 話題いっぱい	10 P
ハートfullタウン	12 P
Step ステップ 教育委員会	14 P
くらしの情報	16 P

さあ、行くよ

12月9日(火)、北保育園50名の園児たちが渡良瀬川の土手(西岡)で芝滑りをしました。お友だちや先生たちといっしょにソリに乗り、夢中になって土手の上から滑り降りました。



広報編集委員 おかだ ひろし
岡田 博



広報編集委員 おのた とみやす
小野田 富康

広報編集委員会 新春インタビュー



広報編集委員 のなか くみこ
野中 久美子



広報編集委員 いちの あつこ
宮内 阿津子



広報編集委員 くりはら じゅんこ
栗原 順子

板倉町が抱えている課題を 一つひとつ解決したい

仕事で健康維持

広報編集委員(以下委員) まず、始めに栗原新町長の人となりをお聞かせください。

栗原町長(以下町長) 年齢は今年で60歳になります。現在、妻、息子夫婦、孫3人の7人家族です。

政治の関係につきましては、昔から群馬青友会などのメンバーたちとともに町づくりを考えてきました。この町をより良くするために離合集散したりする中で、現在に至っています。

委員 栗原町長の趣味は何ですか？
町長 趣味というわけではないですが、妻との旅行をとて楽しんでいます。妻とは、二人でずっと農業をしてきました。時間ができるときには、慰安も兼ねて出かけます。

また、以前は板倉町柔道教室の指導者として子どもたちに柔道を教えていました。さすがに60歳になりまして、現在はやっていませんが、50歳位までは続けていました。委員 何かほか健康のためにやっているようなことはありますか？
町長 とにかく農業を一所懸命やっ

栗原新町長が就任し、新体制となつて動き始めた板倉町合併問題をはじめ、さまざまな課題にどう取り組むか？
栗原町長、荻野議長に広報編集委員がインタビューします

てきましたから、仕事をするのが一番の健康維持になっていると思います。

とが当面の課題となります。現在、町が抱えている課題はいくつもあります。例えば、企業誘致や八間樋橋の問題などです。企業誘致につきましては、財政面から考えても必要なことと考えています。また、八間樋橋については、消防車両や救急車両の通過にも支障があるほ



町長 くりはら みのる
栗原 実

一人ひとりの意見を大切に

委員 それでは次に、新年を迎え、今年1年の抱負を教えてください。
町長 今回の選挙を通して町民の皆さんの期待がどこにあるかということを知ることができました。そうしたものを一つひとつ実現していくこ

どの道幅しかありません。早急な対応が必要となっています。

委員 荻野議長からも新年の抱負をお聞かせください。
議長 やはり立場が違いますから、議会としての意見は何でもぶつけていきたいと思っています。そして、協力するところは協力していきます。ある意味切磋琢磨しながらやっていきたいと思っています。
委員 議会は、執行部を監督する立場です。自分たちは、住民の代表だということを再認識し、議会運営をしていきたいですね。

地域住民と十分に話し合い 合併問題に取り組みたい

特色ある町づくりを目指す

委員 板倉町が特色を出していくにはどのようにすれば良いと思いますか？ また、どのように町の特色を出して行こうとお考えですか？

町長 例えば農業、商工業を活性化させたいと考えたとき、一部のかただけががんばっても、肝心の農業者の意欲がなければ意味がありません。商工業においても同じ事が言えると思います。真剣に農業を取り組んでみたいという人がどのくらいいるのか？ そして、どんなことを望んでいるのか？ 例えば、10人の農業者が全く違った希望を持っている場合、10本の政策を打ち出さなければならぬのか？ しかし、それは公平公正の観点から考えた場合にどうなのか？ また、一方で、みんなに同じように援助すれば、特色がなくなるという恐れも出てきます。

何か政策を投じる際には、さまざまな調査、検討を行い、特色ある町づくりをしていきたいと考えています。

議長 今、板倉町が持っている資産、例えば、渡良瀬遊水地なども今以上に確保したいと思っています。

委員 合併問題についても、今後は町民との話し合いの機会を多く持つていただきたいと思っています。

町長 実際に合併をした市町村にいろいろ話を聞きながら、データを収集し、町民の皆さんとしっかりと考えていきたい。

合併に反対するのは簡単。しかし、合併は相手があった話。いざ、こちらが合併したいと願っても相手にその気がなければ合併は成立しません。相手から「合併どうですか？」と話しがあるときにこそ、この問題について、真剣慎重に検討していく必要があると考えます。板倉町は今まさにその時期だと思っています。

少子高齢化が進み、収入が減る。収入が減れば、支出を削らなければならぬ。合併をすることによっていろいろな支出を削ることができません。確かに、行政全体の組織としての目が粗くなるなどのデメリットもあるかもしれませんが、板倉の町民にとって利点がどのくらいあるのか良く検討していきたいと思っています。

議長 板倉町は県境に位置しているため、都合の良い面、悪い面がある

に活用していけたらいいですね。遊水地には、年間90万人ほど訪れるのではないのでしょうか。ニュータウン



おぎのよしとも 議員 美友

行われてきました。過去を振り返れば、板倉町も合併に合併を繰り返してきた経緯があります。そうした流れの中で、合併は決して悪いことばかりではないという一つの評価があります。合併には、メリット、デメリットがありますが、いくつもの合併が行われる中で、さまざまな問題

の販売になんとか結び付けられればと思います。

合併問題に取り組みたい

委員 栗原町長のマニフェストでもありますが、合併について伺います。

町長 現在まで、いくつもの合併が

点も検証されています。合併については、やや成熟した段階にあると、わたしは考えます。

群馬県も市部を中心として、合併が進行しているという事は周知の事実。合併によってデメリットばかりが生じるのであれば、合併は、これほど広がりません。デメリットよ



新春インタビューの様子

りも、メリットの方が多いという結果なのではないでしょうか。

板倉町もいずれは合併の方向へ進むと考えています。合併をするなら早いほうがいいのか？ 遅い方がいいのか？ わたしは合併をするならば早いほうがいいと思っています。

町民の皆さんに対しては、「合併とはなんぞや？」というところから説明していきたいと思っています。また、アンケートなどの実施の際には、ぜひご協力ください。

民主的に考えながら合併問題を進めていきたいと考えています。

議長 以前から、板倉町は優良農地が多くありました。また、米も今より高値で取り引きがされてきました。そうした過去から板倉町はわりあい裕福な町だったように思えます。しかし現在、社会情勢も変わり、地方はどこも苦しい状況にあります。

合併について、栗原町長は大変積極的ですが、議会でも合併特別委員会が設置されています。今まで何度か開催していますが、総論賛成各論反対といった状況が続いています。

近隣町村を見ると、「さあ、合併するぞ」と動き出すが、合併する直前までいつて壊れるといったケースも多く見られます。やはり合併問題には十分に時間をかけ、町民の皆さんとじっくり話し合っていくことが大切だと思っています。

いるあると思われれます。合併をするうえで、ほかの市町村とはまた違った影響も多々出てくるのではないのでしょうか。板倉町の実情に沿った慎重な検討を重ねていくことが大切だと思います。財政的に貧しいからという理由だけで合併するというわけにはいきません。

町長 合併により、今以上に合理的に経費を減らし、浮いた分を町民サービスへ充てる。板倉町においても合併議論を起こさなければならぬと思っています。

議長 確かに合併議論は絶対に必要だと思っています。十分な検討をしていきましょう。

最大限の努力をします

委員 それでは、最後に町民の皆さんへメッセージをお願いします。

町長 板倉町が少しでも良い町になるよう、最大限の努力をしていきます。町民の皆さんが最終的にこの町に住んで良かったと思えるよう、皆さんの期待に応えられるよう、がんばっていききたいと思います。

議長 「米国がくしゃみをする」と日本は風邪を引く」と言われ、昨今は何でもテンボが早いような気がします。今年はずし年、じっくりと住民の声を聞き、住みよい町づくりのため、努力していきたいと思っています。

